

あらゆる仕事で生きてくる 簿記・会計の知識と“人間力”を求めて

スライドを利用し、ビジュアルで理解を助ける簿記の授業。
真剣に解説に耳を傾ける学生たちは、
まだ入学式前の新入生だ



新潟会計ビジネス専門学校 (新潟市)

“会計ビジネス”の校名の通り、同校では学科を問わず、まず最初に、簿記・会計の勉強から始める。全国簿記電卓競技大会では何度も優勝を果たした実力校だ。さらに、各種の検定や行事などを通して人間力を養い、地元社会に貢献する人材を育成する同校の取り組みについて伺った。



グループ学習も同校では当たり前。
友達に教えることで、
自分の理解も深まる

入学して最初に学ぶ簿記で 勉強の仕方も身に付ける

新潟駅からほど近く、若者が集う万代エリアの中心地にある新潟会計ビジネス専門学校では、毎朝9時30分の始業に合わせ、エントランスには教職員が立ち、登校してくる学生とあいさつを交わす。壁には校内行事の写真や、就職先別に卒業生の顔写真が張り巡らされ、活気ある様子が伝わってくる。

同校は、2年制の経理ビジネス学科、情報経理学科、2〜4年制の税理士学科、公認会計士学科、1年制の会計研究科を擁し、いずれも経理の知識をベースに社会人として即応できるスキルの育成を目指している。学習から就職に至るまで、きめ細やかな指導が特長だ。

新潟県は農林水産業をはじめ、金属製品などの生産や食品加工業、化学工業などの地場産業も盛んで、働く環境の整った中小優良企業が多い。同校の九割五分は新潟県内から通う学生で、卒業後もほとんどが県内の企業に就職する。

「入学当初はそれほど就職を意識していない学生も、就職活動をするころには、本校で得た知識やス

キルを生かして地元の発展に貢献したいという希望を持つようになります。進路指導の際には、個別に懇談を行い、それぞれの希望にマッチした企業を薦めるようにしています」と話すのは、就職相談室長でもある秋山正之先生。昨今の社会状況から、やはり求人は減少傾向にあるが、卒業までに決まらない学生については卒業後も担任を通してあっせんを続けているという。

「会計ビジネス」という校名だけあって、同校の教育の基礎となっているのは「簿記・会計」だ。学科を問わず全学生の必修科目で、入学して最初の2カ月はまず簿記・会計の基礎を学ぶ。それぞれの専門科目に入るのはその後だ。この指導方針について、事務局学生課主任の三木田薫先生は次のように話す。

「お金の流れや税金について理解することは、社会の仕組みを知る第一歩。職種を問わず必要な知識であり、この知識が身に付けばどんな業界でも役に立ちます。また、この段階で本校での学習の仕方を身に付けることも目的の一つです。短期間の厳しい指導に耐えることで集中力と忍耐力を養い、学生同士のグループ学習に慣れること。その後の学習のためにも、最初しっかりと習慣付けておくのです」。

その言葉通り、同校では多くの場面でグループ学習を取り入れており、講義で学んだ後の復習をグループで行ったり、検定試験のための勉強もグループ学習を活用している。学生同士が



1月ごろに行われる卒業生との座談会では、「ビジネス文書検定は本当に役に立った」と実感のこもった感想が出る



ビジネス文書検定、秘書検定ともに1級を取得した西澤恵美さん。スキルを生かし、この春から銀行に勤めている



(後列左から) 秋山正之先生、三木田薫先生、(前列左から) 榎祐香先生、西脇紀子先生

教え合うことにより、知識が定着しやる気も増す。また、社会に出てからは多くの場合チームで仕事をするようになるため、学生同士がコミュニケーションを図ることは、その練習にもなるのである。

「ビジネス文書は、卒業生から一番役に立った」と好評

簿記をはじめ、同校では数多くの検定を受験しているが、基礎的なビジネススキルの育成のために活用しているのがビジネス系検定だ。

秘書分野の学生は秘書検定を中心にビジネス文書検定、サービスマスター検定、ビジネス電話検定、販売分野の学生はサービスマスター検定を中心にビジネス文書検定、ビジネス電話検定を、と学科ごとに重点を変えて取り組んでいる。教務部次長の榎祐香先生が担当するビジネス電話検定は、今年度から全学科で取り入れることになった。

「電話検定は、秘書検定には抵抗感を持ってしまいがちな男子も取り組みやすく、社会に出てすぐに使える技能。学生たちがどれだけやる気を出してくれるか楽しみです」(榎先生)。

中でも、取り組みに力を入れているのが、ビジネス文書検定である。

「毎年、年明けに卒業生を招いて就業体験談を聞くのですが、そこで彼らが口をそろえて『社会人になって一番役に立った』と言うのがビジネス文書検定なのです。最初は各学科でそれぞ

れ独自に『これは必要だ』と取り入れ始め、気が付けば全学科で指導していった」と、秘書検定、ビジネス文書検定などを担当する西脇紀子先生は言う。OB・OGからの生の声の後押しとなって「ぜひ取得したい」「スキルを身に付けたい」と意欲を燃やす学生が増えており、平成21年度は団体会で文部科学大臣賞を受賞した。

学校で指導しているのは主に3級、2級で、早い学科では1年生の秋ごろから始まる。

「3級レベルでは穴埋めの問題が多いですが、まずは正しい文書例をそのまま書き写すように指導します。学生はビジネス文書の形式や用語に不慣れで、言い換えなければならない言葉に気付かなかつたり、解答例を見ながら書いても、日付や配置などがいいかげんだったり、文字が汚かつたりするので、ここでは少々厳しすぎるくらいに厳密に、整った文書が書けるまで何度でもやり直しをさせます。就職活動が始まれば送付状やお礼状などを自分で書かなければなりません、そのときだけ急に美しく書けるものでもありません。練習であっても丁寧に書くということ、日ごろから徹底しています」(西脇先生)。

文書の重要性に目覚め、独学で1級まで取得する学生もいる。この3月に卒業した西澤恵美さんもその一人。2年生の6月に3級を受験し、その時点ではそれほどためになるという意識はなかったそうだが、就職活動を進めていく

うちに、これはもつと深く学んでおきたいと思つたという。過去問題を15回分も解き、疑問点は西脇先生に個別の指導を仰いだ。

「出題回数をチェックし、よく出題される文書は何度も一からノートに書いたり、自分なりに傾向と対策を立てて臨みました。また、出題は少ないけれど、実際の会社で使いそうなものは参考書で調べておくなど、単に検定に合格するためだけでなく、仕事でも使えるスキルにすることを意識しながら勉強しました」と西澤さん。就職先の銀行でその力を発揮できる日を楽しみにしているそうだ。

学ぶことの楽しさを実感させ、 学び続ける意欲を育てる

短い学生生活で、学生たちは驚くほど多くの検定試験を受験し、就職活動などに生かしている。しかし、先生方の願いは、決して知識を詰め込むことだけではない。

「検定試験の結果はもちろん大事です。勉強したことが形になりますし、プレッシャーを与えれば、やり遂げたときに自信も付く。それと同時に、合格して終わりではないのも事実。合格して、それでどうするか。本校の学生たちは、各種の検定で実際に使える技能を身に付けていくので、これを生かして自分は何ができるかと考えるようになります」と西脇先生。前述の西澤さんや、秘書検定1級を取得した学生たちは、それらの検定に合格することで、「秘書に

なりたい」「マナー講師になりたい」とまた新たに将来の目標が広がってきたという。

「本校では検定などの学習だけでなく、人間性——昨今言われる『人間力』の育成も目標にしています。人間力は『じんかんりょく』とも読めますが、社会で活動していく上では、多くの人とコミュニケーションをとり、自主的に行動することが大切です。さまざまな活動を通して、クラスの学生同士でも、教員と学生との間でも、学外の人とも、人と人をつなぐ力身に付けてもらいたいと思っています」と三木田先生は話す。

その言葉通り、学生が主体となって行う学校行事や日々のグループ学習、インターンシップ、高校生対象の学校説明会など、人間力を培う場面が数多くある。

全学科の共通科目「実践行動学」も、社会で生きる人間としての基礎的な考え方を身に付けるのが目標だ。この科目は、学生同士のコミュニケーションを促進し、学ぶ姿勢や、将来に向けての目標設定などを学ぶ、キャリア教育に相当するもの。最初はグループになり、自己紹介として生い立ちや夢を話すことから始める。人と人とのやりとりができるようになり、相手の気持ちになって話ができるようになってほしいという。

「一番重視しているのは、学生たちが、学ぶことは『楽しい』と実感できること——先生方の強い願いは、こんな言葉に表れている。

「例えば毎年出場している全国簿記電卓競技大会にしても、電卓を速く打てること自体が今の時代ですぐに役に立つわけではありません。しかし優勝を目指して懸命に取り組むこと、そして達成することで、『自分はよく頑張った』という実感を持てます。それがすなわち学ぶことの楽しさにつながると思うのです。検定試験への挑戦も同じです」と秋山先生。これには榎先生も「学ぶ楽しさと達成感とは両輪。目標を次々につくっていきける人になってほしい」と、大きくうなずく。

学ぶのが楽しいから達成感を得られる。達成感があるから学ぶのが楽しい。

この繰り返しの経験が、卒業後も学生たちに生涯学び続ける習慣を付ける。これからの社会を担う人材を育てる先生方の熱意が感じられる言葉だった。

秘書検定面接指導の様子。
「表情が硬い」
「お辞儀の角度が浅い」と、
お互いに指摘し合ったことが
よい刺激になったという

